

在宅医療に関する調査 結果報告書

平成28年1月25日
株式会社QLife（キューライフ）

■ 本調査に関するお問い合わせ先

株式会社QLife QLife編集部 田中智貴
TEL : 03-3500-3235 / E-mail : info@qlife.co.jp

主な結論

2014年度の国民医療費は40兆円を突破し、わが国の財政を大きく圧迫している。医療費抑制のため、近年広がっているのが「入院から在宅へ」の動きだ。入院が長期化する高齢者を中心に、入院日数を短縮し、在宅で医療を受けてもらうための医療体制の整備を急ピッチで進めている。そうしたなか、新たな問題として浮かび上がるのが、在宅医療費の問題。そこで、QLifeでは在宅医療を受けている家族がいる500人を対象に、在宅医療費について意識調査を実施した。

調査結果から、認知症や脳梗塞、脳卒中などの脳血管障害患者の家族を中心に、4人に3人が在宅医療費について負担に感じていることが分かった。現在の平均自己負担額は月2万円前後だが、約7割の家族が今後も在宅医療費が増加すると考えており、在宅医療が長期化するにつれ、その負担感はますます増大するものと思われる。しかしながら、約7割の家族が「入院よりも在宅のほうが良い」と回答するなど、住み慣れた家での治療を望んでおり、在宅医療費の負担軽減は解決すべき大きな課題の1つであると思われる。

結論の概要

◆在宅医療にかかわる費用について、76.4%が負担に感じている

「認知症」「脳血管障害」では8割以上が負担に感じている
在宅医療にかかわる費用、41.0%が「思っていたより高かった」
想定外の費用がかかったのは「リフォーム」「消耗品」「介護食」「医療費、薬代」など

◆在宅医療費の自己負担額は平均で月2万円前後。最大12万円支払っているケースも

在宅医療費の自己負担額は平均で19,590円、最少額は1,000円、最大額は120,000円だった。年代別に見ると、在宅医療を受けている家族の年齢が「70代未満」では、平均21,610円で、最大120,000円だった。「がん」（平均30,650円）や「脳血管障害」（平均25,070円）で負担が多い。「70代以上」では、平均18,890円、最大44,000円だった。

◆在宅医療費 71.6%が「今後も増えると思う」。それでも70.2%が「入院よりも在宅のほうが良い」

◆在宅医療と介護の違い「知っている」73.8%、国の在宅医療の推進「知っている」61.6%

【調査実施概要】

▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査対象： 在宅医療を受けている患者の家族
- (2) 有効回収数： 500人
- (3) 調査方法： インターネット調査
- (4) 調査時期： 2015/12/18～2015/12/24

▼有効回答者の属性

(1) 性・年代

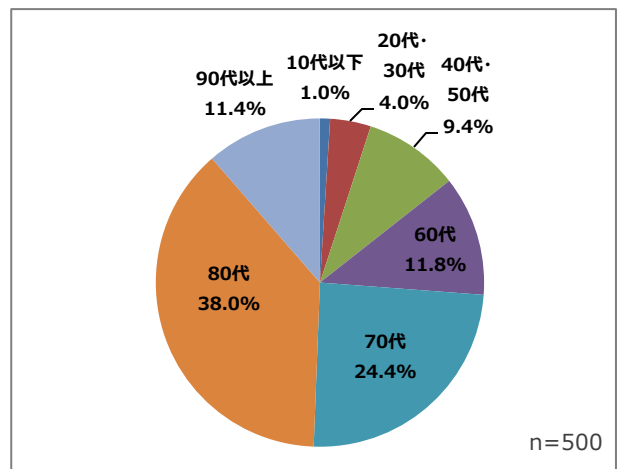
年代	男性	女性	n	男性	女性	%
20代	14	15	29	3.8%	11.2%	5.8%
30代	55	34	89	15.0%	25.4%	17.8%
40代	101	26	127	27.6%	19.4%	25.4%
50代	122	40	162	33.3%	29.9%	32.4%
60代	56	17	73	15.3%	12.7%	14.6%
70代	18	2	20	4.9%	1.5%	4.0%
総数	366	134	500	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 居住地

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
2.6%	0.2%	1.0%	1.8%	1.2%	0.2%	1.0%	2.2%	1.0%	1.4%	4.6%	5.0%
東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
14.8%	5.8%	1.2%	1.6%	1.4%	0.0%	0.4%	1.8%	1.4%	2.0%	7.6%	1.8%
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
1.2%	4.0%	10.2%	6.2%	0.8%	0.4%	0.6%	0.2%	1.8%	2.2%	0.2%	0.8%
香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
1.0%	0.6%	0.6%	3.8%	0.0%	0.8%	1.0%	0.2%	0.6%	0.6%	0.2%	

(3)在宅医療を受けている家族の年齢

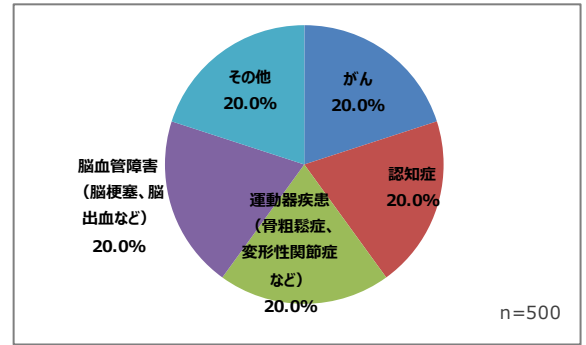
	n	%
10代以下	5	1.0%
20代・30代	20	4.0%
40代・50代	47	9.4%
60代	59	11.8%
70代	122	24.4%
80代	190	38.0%
90代以上	57	11.4%
総数	500	100.0%



(4)在宅医療で治療中の疾患

n=500 (SA)

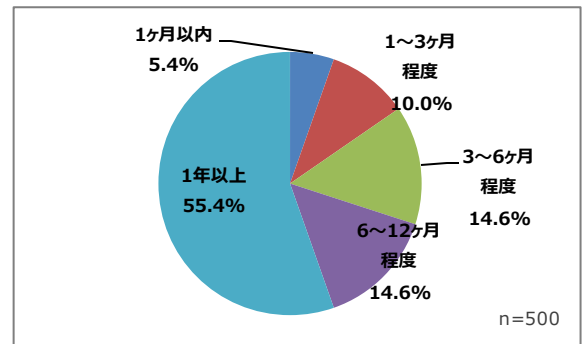
	n	%
がん	100	20.0%
認知症	100	20.0%
脳血管障害 (脳梗塞、脳出血など)	100	20.0%
運動器疾患 (骨粗鬆症、変形性関節症など)	100	20.0%
その他	100	20.0%
総数	500	100.0%



(5)在宅医療での治療期間

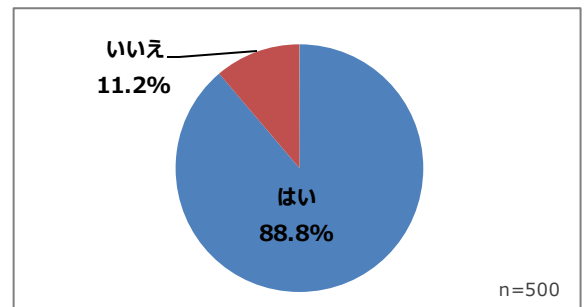
n=500 (SA)

	n	%
1ヶ月以内	27	5.4%
1～3ヶ月程度	50	10.0%
3～6ヶ月程度	73	14.6%
6～12ヶ月程度	73	14.6%
1年以上	277	55.4%
総数	500	100.0%



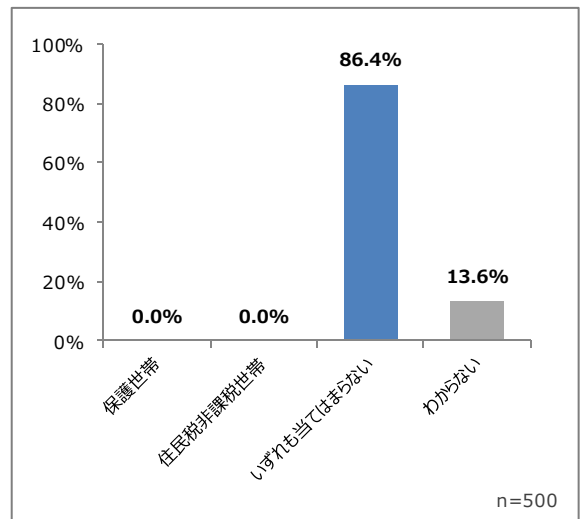
(6)在宅医療を受けている家族の在宅医療費を把握しているか

	n	%
はい	444	88.8%
いいえ	56	11.2%
総数	500	100.0%



(7)在宅医療を受けている家族の世帯は「保護世帯」もしくは「住民税非課税世帯」か

	n	%
保護世帯	0	0.0%
住民税非課税世帯	0	0.0%
いずれも当てはまらない	432	86.4%
わからない	68	13.6%
総数	500	100.0%



【Q1】在宅医療を受けている頻度を教えてください。

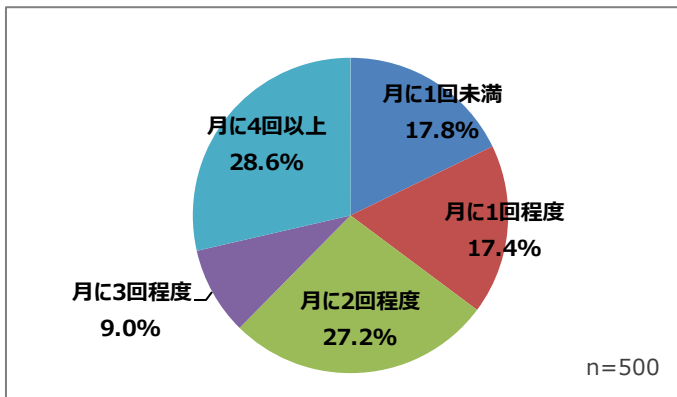
※看護師や理学療法士（リハビリ）が「医師なし」で訪問するものを含む。

「月4回以上」が最も多く28.6%、次いで「月2回程度」が27.2%だった。

n=500

(SA)

	n	%
月に1回未満	89	17.8%
月に1回程度	87	17.4%
月に2回程度	136	27.2%
月に3回程度	45	9.0%
月に4回以上	143	28.6%
総数	500	100.0%



【Q2】最近1ヶ月間の在宅医療費（自己負担額）を教えてください。

※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

※在宅医療費…「訪問診療費」「お薬代（医師が処方した薬のみ）」を含む。「通院で治療する際にかかる医療費」や「介護費用」は含まない。

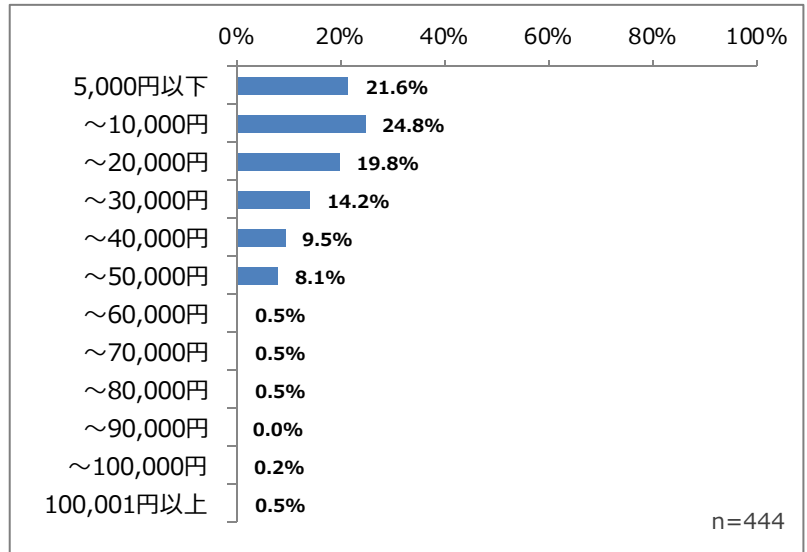
在宅医療費の自己負担額は平均で19,590円、最小額は1,000円、最大額は120,000円だった。

年代別に見ると、在宅医療を受けている家族の年齢が「70代未満」では、平均21,610円で、最大120,000円で、「がん」（平均30,650円）や「脳血管障害」（平均25,070円）で負担が多くみられた。

「70代以上」では、平均18,890円、最大44,000円だった。

n=444 (NA)

	n	%
5,000円以下	96	21.6%
～10,000円	110	24.8%
～20,000円	88	19.8%
～30,000円	63	14.2%
～40,000円	42	9.5%
～50,000円	36	8.1%
～60,000円	2	0.5%
～70,000円	2	0.5%
～80,000円	2	0.5%
～90,000円	0	0.0%
～100,000円	1	0.2%
100,001円以上	2	0.5%
総計	444	100.0%



	値
平均値	¥19,590
最小値	¥1,000
最大値	¥120,000

治療中の疾患（Q1）とのクロス

	平均値	最小値	最大値	n
がん (n=88)	¥24,840	¥1,000	¥120,000	88
認知症 (n=90)	¥20,540	¥1,000	¥44,000	90
脳血管障害 (n=90)	¥21,900	¥1,000	¥60,000	90
運動器疾患 (n=86)	¥16,290	¥1,000	¥120,000	86
その他 (n=90)	¥14,360	¥1,000	¥100,000	90

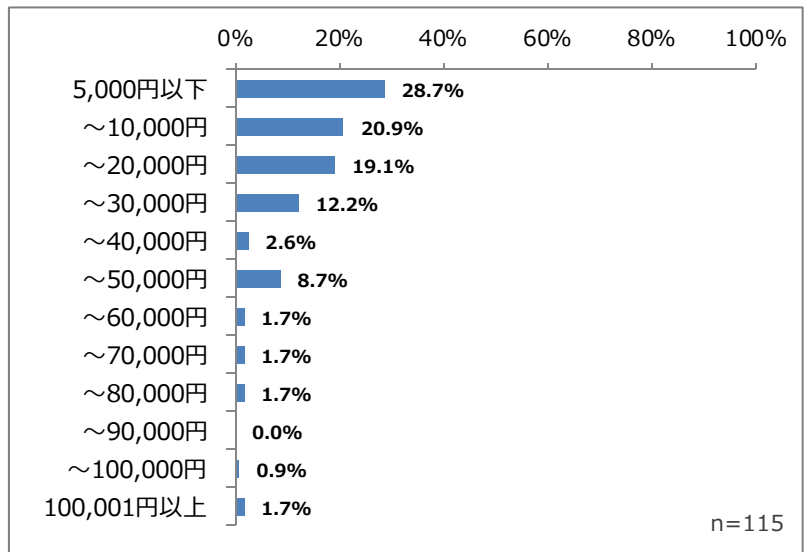
【Q2】最近1ヶ月間の在宅医療費（自己負担額）を教えてください。（つづき）

Q2-1.在宅医療を受けている家族の年齢が「70代未満」

※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

n=115 (NA)

	n	%
5,000円以下	33	28.7%
～10,000円	24	20.9%
～20,000円	22	19.1%
～30,000円	14	12.2%
～40,000円	3	2.6%
～50,000円	10	8.7%
～60,000円	2	1.7%
～70,000円	2	1.7%
～80,000円	2	1.7%
～90,000円	0	0.0%
～100,000円	1	0.9%
100,001円以上	2	1.7%
総計	115	100.0%



	値
平均値	¥21,610
最小値	¥1,000
最大値	¥120,000

治療中の疾患別

	平均値	最小値	最大値	n
がん(n=34)	¥30,650	¥1,000	¥120,000	34
認知症(n=10)	¥16,400	¥1,000	¥40,000	10
脳血管障害(n=15)	¥25,070	¥1,000	¥60,000	15
運動器疾患(n=14)	¥19,790	¥1,000	¥120,000	14
その他(n=42)	¥14,900	¥1,000	¥100,000	42

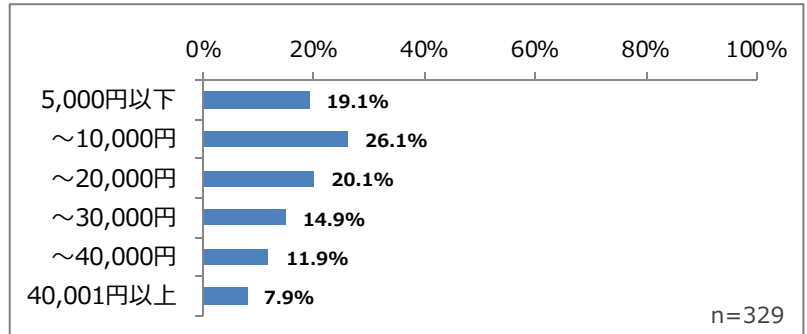
【Q2】最近1ヶ月間の在宅医療費（自己負担額）を教えてください。（つづき）

Q2-2.在宅医療を受けている家族の年齢が「70代以上」

※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

n=329 (NA)

	n	%
5,000円以下	63	19.1%
～10,000円	86	26.1%
～20,000円	66	20.1%
～30,000円	49	14.9%
～40,000円	39	11.9%
40,001円以上	26	7.9%
総計	329	100.0%



	値
平均値	¥18,890
最小値	¥1,000
最大値	¥44,000

治療中の疾患別

	平均値	最小値	最大値	n
がん(n=54)	¥21,190	¥1,000	¥44,000	54
認知症(n=80)	¥21,060	¥1,000	¥44,000	80
脳血管障害(n=75)	¥21,270	¥1,000	¥44,000	75
運動器疾患(n=72)	¥15,610	¥1,000	¥44,000	72
その他(n=48)	¥13,880	¥1,000	¥44,000	48

【Q3】在宅医療にかかわる費用について、あなたはどのように感じていますか。

※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

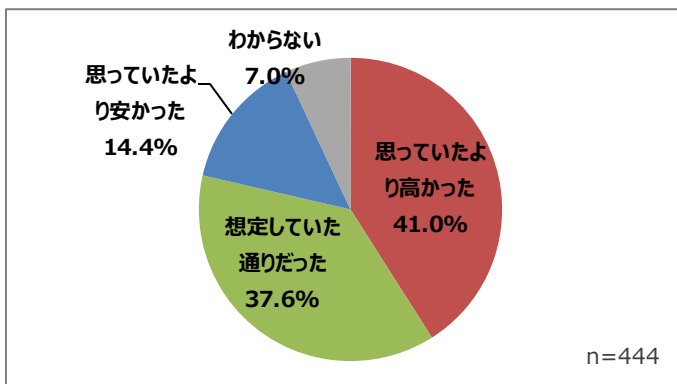
※医療機関や薬局への支払いだけでなく、介護費用やリフォーム費・介護用品の購入費なども含む

41.0%が在宅医療にかかわる費用は「思っていたより高かった」と回答した。疾患別では「認知症」で「思っていたより高かった」と考える割合が高く、53.3%が回答。次いで、「脳血管障害」の46.7%だった。

n=444

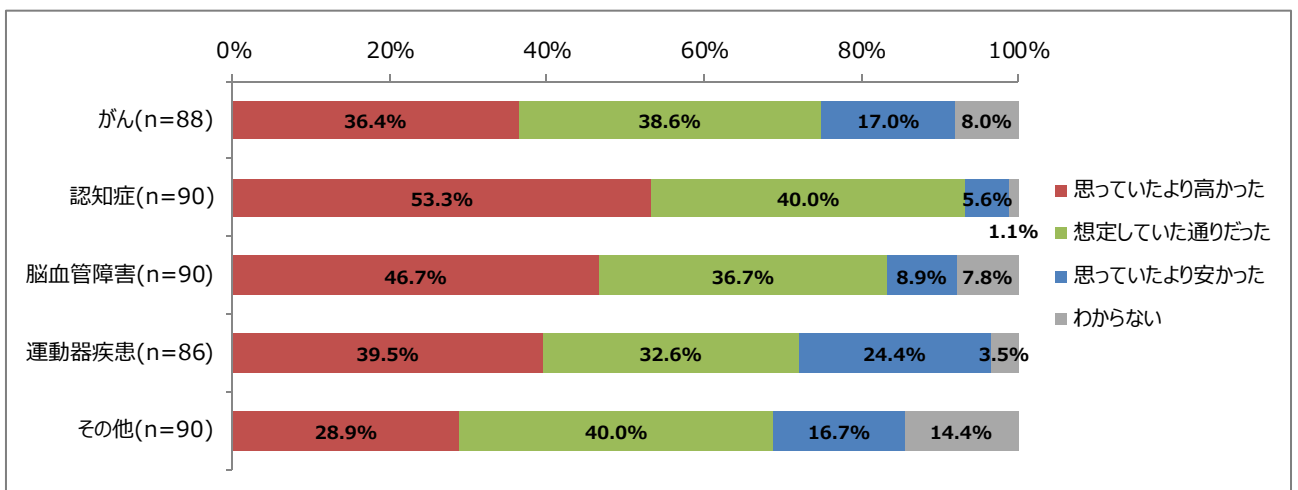
(SA)

	n	%
思っていたより高かった	182	41.0%
想定していた通りだった	167	37.6%
思っていたより安かった	64	14.4%
わからない	31	7.0%
総数	444	100.0%



治療中の疾患別

	思っていたより高かった	想定していた通りだった	思っていたより安かった	わからない	n	思っていたより高かった	想定していた通りだった	思っていたより安かった	わからない	%
がん	32	34	15	7	88	36.4%	38.6%	17.0%	8.0%	100.0%
認知症	48	36	5	1	90	53.3%	40.0%	5.6%	1.1%	100.0%
脳血管障害	42	33	8	7	90	46.7%	36.7%	8.9%	7.8%	100.0%
運動器疾患	34	28	21	3	86	39.5%	32.6%	24.4%	3.5%	100.0%
その他	26	36	15	13	90	28.9%	40.0%	16.7%	14.4%	100.0%
総数	182	167	64	31	444	41.0%	37.6%	14.4%	7.0%	100.0%



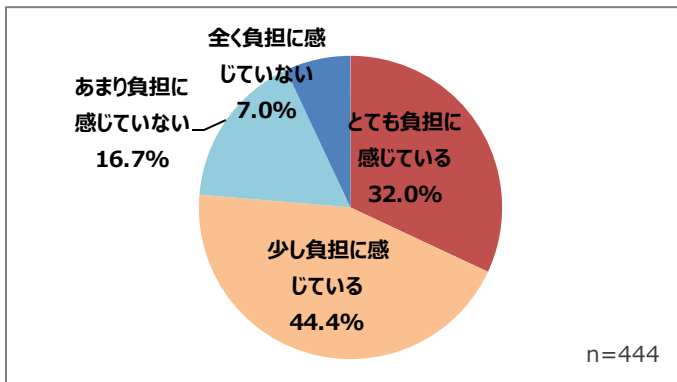
[Q4]在宅医療費をどれくらい負担に感じていますか。 ※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

76.4%が「とても負担に感じている」「少し負担に感じている」と回答した。疾患別では「認知症」が最も高く、87.8%が負担に感じている。次いで「脳血管障害」の81.1%だった。

n=444

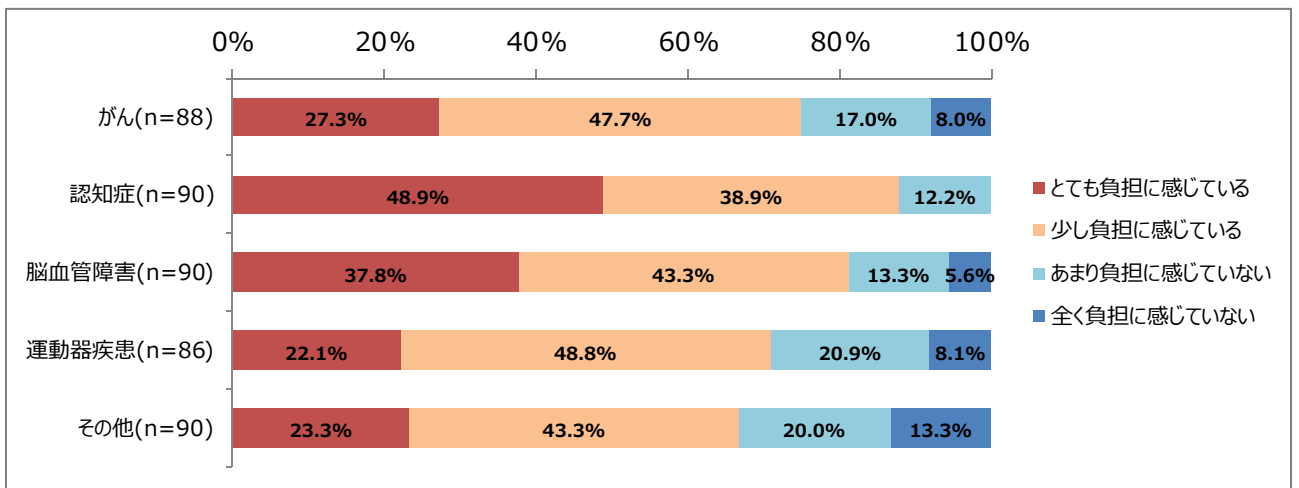
(SA)

	n	%
とても負担に感じている	142	32.0%
少し負担に感じている	197	44.4%
あまり負担に感じていない	74	16.7%
全く負担に感じていない	31	7.0%
総数	444	100.0%



治療中の疾患別

	とても負担に感じている	少し負担に感じている	あまり負担に感じていない	全く負担に感じていない	n	とても負担に感じている	少し負担に感じている	あまり負担に感じていない	全く負担に感じていない	%
がん	24	42	15	7	88	27.3%	47.7%	17.0%	8.0%	100.0%
認知症	44	35	11	0	90	48.9%	38.9%	12.2%	0.0%	100.0%
脳血管障害	34	39	12	5	90	37.8%	43.3%	13.3%	5.6%	100.0%
運動器疾患	19	42	18	7	86	22.1%	48.8%	20.9%	8.1%	100.0%
その他	21	39	18	12	90	23.3%	43.3%	20.0%	13.3%	100.0%
総数	142	197	74	31	444	32.0%	44.4%	16.7%	7.0%	100.0%



【Q5】在宅医療にかかわる費用のうち、「想定していなかった費用」「思った以上の負担となった費用」を具体的に教えてください。 ※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

代表的なコメントを以下に記載する。

◆リフォーム

- ・玄関のスロープ化 トイレ、風呂のリフォーム
- ・風呂、トイレのリフォーム等が想定外の費用でした
- ・襖のバリアフリー化工事、風呂場の滑りにくい床材変更と手すりの取り付け工事、トイレの便器交換工事
- ・スロープの設置費用（約10万円の自己負担）
- ・トイレの改修費

◆医療費、薬代

- ・訪問看護師の派遣代などが高い
- ・お薬代
- ・往診費が高かった
- ・医療費そのものが高かった

◆消耗品、介護食

- ・介護ベッドや紙おむつ・尿取りパッドなどの使い捨て商品が思っていたより費用がかさむ
- ・レンタル用品全般が高い。おむつがばかにならない
- ・入浴の際に使うタオルや特殊な寝巻き
- ・介護食の購入

◆全般、その他

- ・細々としたものに結構な費用がかかる
- ・全部が割高
- ・車いすのレンタル代、送迎の費用
- ・自分が介護できない際の外部委託する介護人の人件費

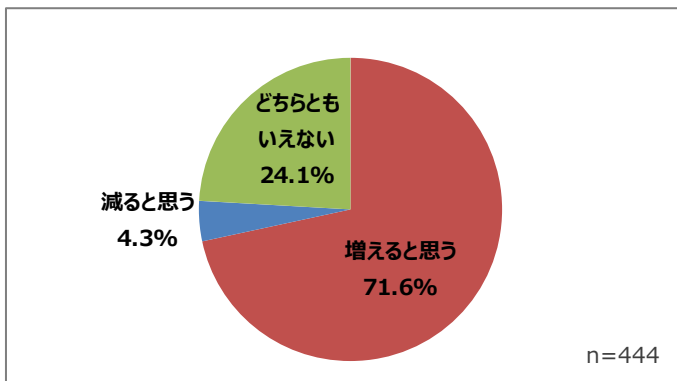
[Q6]在宅医療費は今後増えると思いますか。※家族の在宅医療費を把握していると回答した人のみ回答

71.6%が在宅医療費は「今後増えると思う」と回答した。

n=444

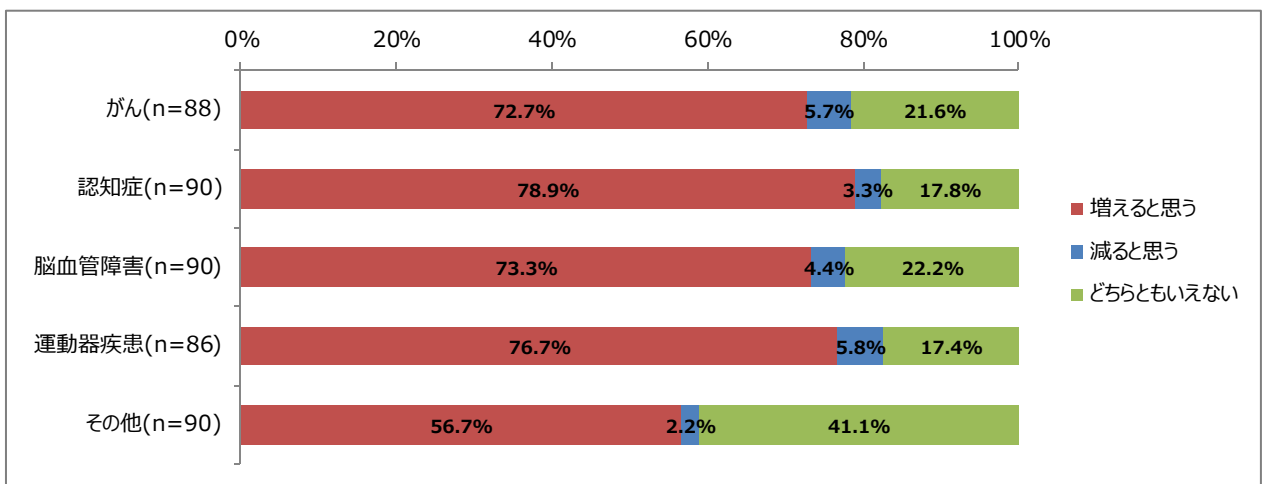
(SA)

	n	%
増えると思う	318	71.6%
減ると思う	19	4.3%
どちらともいえない	107	24.1%
総数	444	100.0%



治療中の疾患別

	増えると思う	減ると思う	どちらともいえない	n	増えると思う	減ると思う	どちらともいえない	%
がん	64	5	19	88	72.7%	5.7%	21.6%	100.0%
認知症	71	3	16	90	78.9%	3.3%	17.8%	100.0%
脳血管障害	66	4	20	90	73.3%	4.4%	22.2%	100.0%
運動器疾患	66	5	15	86	76.7%	5.8%	17.4%	100.0%
その他	51	2	37	90	56.7%	2.2%	41.1%	100.0%
総数	318	19	107	444	71.6%	4.3%	24.1%	100.0%

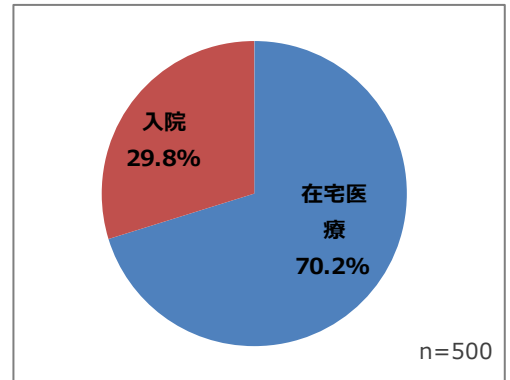


【Q7】今後の治療は、在宅医療と入院どちらが良いと思いますか。

70.2%が入院よりも「在宅医療のほうが良い」と回答した。

n=500 (SA)

	n	%
在宅医療	351	70.2%
入院	149	29.8%
総数	500	100.0%



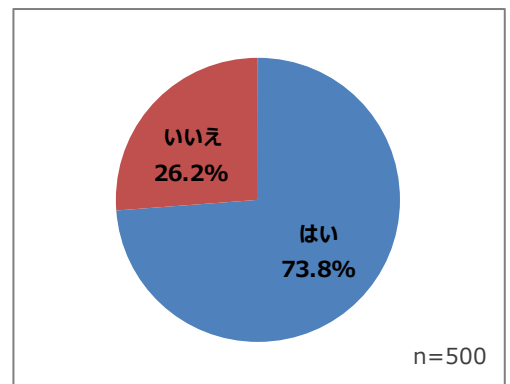
【Q8】在宅医療と介護の違いをご存知ですか。

※在宅医療には健康保険が適用され、介護には介護保険が適用されます。

73.8%が在宅医療と介護の違いを「知っている」と回答した。

n=500 (SA)

	n	%
はい	369	73.8%
いいえ	131	26.2%
総数	500	100.0%

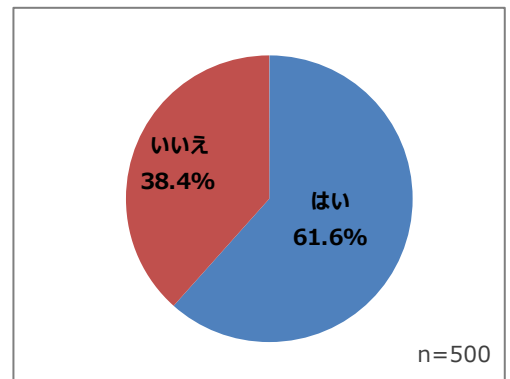


【Q9】国が在宅医療を推進していることをご存知ですか。

61.6%が国が在宅医療を推進していることを「知っている」と回答した。

n=500 (SA)

	n	%
はい	308	61.6%
いいえ	192	38.4%
総数	500	100.0%



【Q10】在宅医療について、改善してほしいことを自由に記載してください。

代表的なコメントを以下に記載する。

医療費などの経済的負担の軽減

- ・料金が高く、家計への負担が大きすぎる。そのため、食費の捻出も困難。ホント、何とかしてほしい。
- ・安くだれでも受けられるようにしてほしい。
- ・今後医療費が増えると思うので、できるだけ自己負担分を減額してほしい。
- ・利用料金をもう少し安くして、利用しやすくしてほしい。

医療体制の整備

- ・病状が急変したときにすぐ医師に相談できる仕組みを充実させてほしい。
- ・在宅医療の医師が少ない。
- ・希望する時間帯に、なかなか訪問して頂けないので負担になっています。
- ・夜や土曜日曜で病院が開いていない時に、発熱があったり体調が悪かったりしていると、どこに相談したらよいかかわからない。

家族の負担軽減

- ・在宅医療は日常的には家族が看護しなければならず、実情は非常に負担となる。特に夜間などに体調が急変した場合など。
- ・周囲の理解がほしい。
- ・在宅医療を行う医師が少ない。最終的に家族一人ですべての介護を担うことがなかなか難しくなる。
- ・周辺に相談できる相手がいない。
- ・在宅医療の世間での認知度、理解度の向上を期待します。
- ・本人の希望にそえば、在宅が一番いいと思うが、家族にとっては抱えきれないこともある。
- ・入院するより患者の精神衛生好ましいのは間違い無いが、家族の心身負担が大きいため、ヘルパー等の補助が有ればと思う。